

解決したい 課題

バス利用者の移動需要(乗降情報等)の把握

NTTコミュニケーションズ株式会社

R5実証内容

■仮説

AIカメラを活用し、停留所ごとの乗降人数を自動で集計することができれば…

- ・バス利用者の移動傾向が把握でき、交通計画に活用できる
- ・運転士の負担軽減に繋がり、バスの安全安心な運行が実現できる



■実施内容

➤ AIカメラを活用したバス利用者の移動傾向把握の有効性検証

- ・「かりまる」車両(一ツ木線1台)の乗降口にカメラを設置し、乗降する方をAIで検知し、停留所毎の乗降人数を把握
- ・AIカメラによる検知精度の確認をすることで有効性を検証

➤ AIカメラを活用した運転士の手集計代替に対する有効性検証

- ・運転士向けアンケートによりデジタルへの代替に対する需要や想定効果を把握
- ・AIカメラによる検知精度の確認をすることで有効性を検証

取組成果

- バスの乗降人数におけるAIカメラの検知精度は**90%程度***であった ※将来的な改善を含む
- 運転士アンケートにより、「手集計からデジタルへの移行が負担軽減及び安心安全な運行に繋がると感じている」と回答した運転士は**89%**であった



結果考察

- ・AIカメラを活用することで、**バス利用者の移動傾向の把握には一定の効果**があり、都市交通計画への活用が期待できる
- ・人数集計の負担軽減及び安全運行のために、**運転士のデジタル化に対する期待感**が確認できた

実装に向けた課題

AIカメラの技術的な課題

- ・乗降時の**人物検知精度の向上** (逆光,重なり等)
- ・乗降者以外の**人物の除外** (運転士の乗降,問合せのみの乗車等)